



まつお まよか 前例にとらわれず、
松尾 万葉香 チャレンジできる日高市役所に！

挑戦する市役所になるには

答弁 DXにより行政運営のスピードを上げる

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 日高市はこれから、交通政策や、学校の跡地活用、子ども計画の策定など、日高市の将来を左右する大きなテーマに取り組む必要がある。そのために、従来の上意下達のやり方を見直し、職員一人一人が、前例にとらわれず創造的にチャレンジできる組織づくりや、職場の「心理的安全性」の確保が重要と考えるが、その方法は。

答 庁内のコミュニケーションを強化し、「8つの行政運営理念CIS」の浸透を図り、中でも「スピード」を重視していく。

問 行政が民間と比してスピードが遅くなる大きな要因は、計画単位が3年～5年と長期で、

また予算編成から実行、評価までに、2年以上かかることにある。この仕組みを見直す考えは。

答 短期間で柔軟に事業内容を改善していけるよう、必要性が生じれば検討していきたい。

問 人事について、年功序列ではなく、意欲と能力のある職員がきちんと評価されることも重要である。上司から部下だけではなく、部下から上司、同僚同士など、相互に評価し合える「360度評価制度」を導入する考えは。

答 国の方では一部実施され、また若手官僚チームから人事院に提言もされているので、研究していきたい。



さとう まこと 小中学生の熱中症事故を防ぎ、
佐藤 真 命を守る方策は

下校時の事故防止の方策は

答弁 休憩や水分補給、地域の見守りで対処する

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 各地の学校現場で深刻な熱中症事故が発生しているが、子どもの命や健康を守るために事故を防がなくてはいけない。直近の熱中症事例と、授業や部活動での事故を防ぐための方策は。

答 夏季休業中に2件の中学生の熱中症事案が報告されている。1件は部活動中であり、もう1件は部活動の帰宅途中に発生した。帰宅途中の事案については、休んでいたところを近所の方が発見し、連絡や救急要請など迅速で的確な対応がされて当日に回復した。授業中の事故防止に関しては、WBGT（暑さ指数）が31℃以上または気温が35℃以上での運動中止、エアコンの積極的活用、水分補

給の時間の確保や、学校によっては体育の時間を涼しい時間帯にするための時間割の組み替えを行っている。部活動に関しても、早朝の気温が比較的涼しい時間帯での活動、クーリングタイムの導入、エアコンがある教室での休憩などを実施している。

問 帰宅途中の事故防止のため、地域の見守りを強める市民に向けた啓発・周知活動は。

答 学校運営協議会などを通じて地域の方に周知していく。



熱中症事故を防ぐために大切な熱中症計（ひだかアリーナ）